

外免切り替えに成功 合宿で中型免許取得へ

特定技能ドライバー ヨロズ物流

ヨロズ物流(新谷剛社長、大阪府富田林市)で特定技能のトラックドライバーを目指す中国籍の呉召月氏が、11月19日に普通自動車免許の「外免切り替え」に成功した。10月から外免切り替えが厳格化され、技能確認(実技試験)の指示も日本語で行われたため、合格への道のりは険しかった。

(根来冬太)

外国の運転免許証を日本
の免許に切り替える外免切
り替えは、自動車教習所に
通って一から日本の運転免
許を取得するよりも早く、



日本の免許証を手にする呉氏(一部画像処理)

近運局、環境優良表彰

宮田運輸など5者受賞

新聞と給食 共同輸送

近畿運輸局は11月26日、一式を開き、学校給食の食材環境保全優良事業者等表彰と新聞を共同で輸送した宮田運輸(宮田哲治社長、大阪府高槻市)、永尾運送(永尾弘社長、摂津市)、読売新聞大阪本社、大阪府学校給食会(八木下理香子理事長)や、食品飲料業界で初めて中距離帯の定期貨物鉄道輸送を実施した近畿運輸局(前右)から3人目と受賞者。

中間決算、黒字に転換

近畿共済 気を引き締め事故防止

近畿交通共済協同組合(岡田博理事長)は11月25日の理事会で、2025年度の中間決算などを承認した。積極的な契約拡大で自動車共済の掛け金収入は前年同期比11%増えた。

岡田理事長は「皆さんの協力で中間決算では昨年の赤字から黒字へと転換できた。このまま通期まで順調



安全運行への協力を求める岡田理事長

安全運行への協力を求める岡田理事長

楽観はできない。損害保険各社の料率改定の結果、依然として掛け金の優位性は維持できている。気を引き締め事故防止に努めることが重要」と述べ、安全運行への協力を求めた。

中間決算は収入148億4337万円、支出148億9555万円で、中間利益3381万円を計上した。種目別収益では、自動車修理費の高騰や物価高の影響を受け、対物が3億1781万円の赤字となったもの

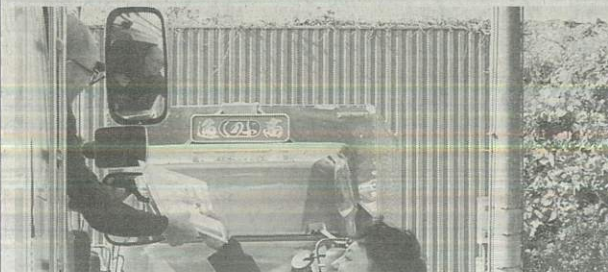
の、労災共済も含め他の種目は黒字だった。

このほか、組織運営や事務局職員を非難、中傷する内容の文書が部外者から職員や組合員に配布・送付されるなどした件に関連し、岡田氏は「ご心配をお掛けして申し訳ない。できるだけ早く解決したいと考えているが、弁護士に対応を依頼している件もあり、現時点で詳細についてはまだ申し上げられない」と陳謝した。

(小栗史和)



「福祉施設で暮らす高校生への職業説明や体験学習にも力を入れていく」と松田会長



により、環境負荷低減の輪が広がっていくことを願っている」と話した。

受賞した宮田運輸と永尾運送は従来、給食食材、読売新聞の夕刊をそれぞれ個別に輸送していた。夕刊を輸送する永尾運送のトラックの空きスペースを活用し、宮田運輸が運ぶ市1町の小中学校80校分の給食食材を積み込み、新聞の各販売店まで、新聞と給食の両方を運び、そこから各小学校まで宮田運輸が配送するなど、輸送ルートを通分

化。定期・定時に行う新聞輸送の特徴を生かし、新たな設備投資をせずに共同配送を実現させた。

ネスレ日本では、静岡・大阪(3300ト)で毎日行っていた200トのペットボトルコーヒータラック輸送を鉄道貨物に転換。ト

ラックの輸送台数を大幅に減らすことで、二酸化炭素(CO2)排出量を年間900ト削減した。

神戸大学の小谷通泰名誉教授は「日頃からの各社の意欲的な事業活動に敬意を表したい。物流業界にとって、環境保全は必須の課題。今回受賞された事業者の取り組みは特筆すべきものであり、更なる対策に努められることを期待したい」と総括した。

(黒須晃)

福祉施設の高校生

滋下協 就業と自立

滋賀県トラック協会(松田直樹会長)は11月26日の理事会で、人材確保事業の一環として、福祉施設で暮らす高校生の就業支援に積極的に取り組むことなどを確認した。

松田会長は「これまでは

「物流の現場はバーチャルでは成り立たない」と三宅会長

旭日単光

湖東物流(藤田正樹社長、滋賀県近江八幡市)の江



「福祉施設で暮らす高校生への職業説明や体験学習にも力を入れていく」と松田会長

運送業分野特定技能1号評価試験に合格し、9月に来日している。坂本孝広顧問は「外国在住からこのスピードで特定技能試験と外免切り替えに成功している中、小運送事業者は先駆的ではないか。大手運送事業者の間で特定技能ドライバーの大量雇用方針が発表されているが、本当に人手不足ない